

NEW ITEM

20年以上にわたって水素分子の医療利用に関する研究開発を手がけるMIZ(本社・神奈川県鎌倉市、佐藤文武社長)では、5月から新型の水素ガス吸入機「MHG-2000α」を販売代理店を通じて展開している。

同商品は、水素分子を肺や心臓、血液、脳などに素早く行き渡らせることができる「水

素ガス」を手軽に吸入できる吸入機。同社初の家庭向け水素ガス吸入機「MHG-2000」(2015年9月発売)をベースに、機能を強化した。水素ガス発生に必要な電解セルを2槽から3槽に増やし、水素ガス濃度を従来機の3.3倍から6.0倍に高め、7.5%に高めた。これにより水素発生量は従来機の約2倍にアップし、よりスピーディに水素ガスの吸入が可能になった。

M i Z

新型水素ガス吸入機発売

MHG-2000α

濃度2倍に、安全性キープ

現在、水素関連市場には複数の水素ガス吸入機が流通しているが、吸入機で重要なポイントはその安全性の確保だ。水素分子は、空気中では4~75%の濃度範囲で火の気や静電気によるスパークがあると爆発する危険性があるとされている。水素ガスが発生する瞬間に希釈用空気を電極



MHG-2000α

吸入機は同社製品のみだという。

主な仕様は次の通り。▽寸法・W254×L170×H278ミリメートル、▽重量

機器前面のパネルにリアルタイムで表示される。▽供給量・毎分2リットル、▽水素ガス濃度

・3.0キログラム、▽価格・オープン価格

同社では、水素ガスが実際に爆発する濃度の範囲について研究・調

査を実施した結果、通常の環境では10%以下の水素濃度では水素ガス吸入機の使用には問題がないことが分かった。また、「MHG-2000」および「MHG-2000α」は、水の電気分解によって

表面に吹き付け、水素盛り込まれている。水素濃度の制御機能が搭載されている水素ガス

電源があれば場所を選

ず使用可能で、重量は約3キログラムと小型設計が特徴。水素ガスの吸入時間は5分~90分までの5分間隔で設定できる。主な販売チャネルは美容医療機関、エステティックサロン、スポーツジム、一般家庭などを想定している。